

2012年12月15日(土)13:30～名細公民館「第14回・男のゆうゆう塾」

第14回「ドイツから見た川越」株IDEC社長・Chris Brungerさん

出席者(19名) 南、戸田、青山、上野、斉藤、遠藤、浦野、吉田、辻、御菩薩木、栗栖、竹内、佐藤、永山、仁科、富野、大島、江田、一般1名

ドイツと日本は、面積、平均年齢、出生率、国民1人当たりの購買力、都市人口の割合、ほぼ同じです。鉄道延長はドイツ、車道延長は日本、借金は日本がドイツの2.5倍・・・日本人は外国を見るとすぐに比較しますが、欧州は相手の長所を見つけます。子供のしつけは、日本では子供から大人になるまで、自由がだんだん制約されていきますが、欧州では、逆に自由に解放されていくそうです。



クリス ブリュンガー (Chris Brünger)

- 1952年 ドイツ・デュッセルドルフ市生まれ
- 1959年 ドイツ・レムゴ市立小学校一年生の時初めて幻の国ニッポンの話を聞く
- 1971年 初来日、翌年再来日し、半年間東京にて日本語習得
- 1976年 川越出身の日本人女性と結婚。一男一女
- 1980年 ドイツ・エッセン大学医学部卒業、ドイツ医師免許取得
- 1983年 日本に移住、胃がんの臨床研究のため名古屋保健衛生大学に勤務
- 1986年 日本医師免許取得 - 同大学内科学講師
- 1988年 慶應義塾大学医学部消化器内科特別研究医
- 1989年 ドイツの製薬会社シェーリング社入社
日本の支社(大阪)で臨床研究に従事
- 1997年 米国・スウェーデン・イタリアの多国籍の製薬会社ファルマシア社入社、
ファルマシアジャパン(東京)研究開発部門長就任
- 2003年 東京にて新薬開発コンサルティング会社を設立、
同年より川越在住。。。

